

■一般文学

「シンデレラ城の殺人」

・著:紺野 天龍

・出版社:小学館

「むかしあるところに、それはそれはうつくしくてこころのやさしいむすめがいました。」

だれもが一度は読んだことのある世界名作絵本のお話です。映画やアニメに登場するシンデレラは、大人やこどもに好かれる大人気の美しいお姫様ですが、怪しい魔法使いにガラスの靴を渡され、言葉巧みにお城で開かれる舞踏会に誘われます。お城に到着すると、美しいシンデレラはさっそく王子様の目にとまります。「ガラスの靴では踊りにくかろう」と、王子様から靴を借りてダンスを始めますが、帰る時間が気になって早々に切り上げて靴を返しに行くと、なんと王子様が自室で死んでいます。

すぐに捕らえられたシンデレラは大ピンチ、王子様殺しの冤罪を晴らすため、推理に挑みます。果たして、真犯人を見つけることができるのか。

はらはらドキドキの今どきのストーリー、童話とミステリーが合わさってミキサーでぐるぐるかき混ぜたような楽しいお話です。一気に読めること間違いなし、あなたも新しいシンデレラを味わってみてください。他にも「毒舌執事とシンデレラ」など、たくさんのシンデレラが私たちを楽しませてくれます。

(対象 一般)

■一般書

「全日本鉄道バス旅行地図帳 2021年版」

・編集・出版:小学館クリエイティブ

「祭りより前の日」という言葉があるように、旅行というものは、事前の計画そのものにも楽しさがあります。このムック本は、すべての鉄道路線と駅が地図上で見られるようになっています。全国を走る車両情報や、名所も紹介され、地図上を眺めるだけで旅へ出かけるように楽しむことができるのです。

公共交通機関を使った旅の利点は、移動時間と乗り継ぎが確実にわかる場所だけでなく、移動のルートが限られることで、足を向けられないような名所や特産物などに会う機会に恵まれるところです。

旅の計画や机上旅行を楽しみたい方におすすめです。

(対象 一般)

■児童書

「かえるのエルのお母さんになりたい!」

・作:乗松 葉子

・絵:おおで ゆかこ

・出版社:ポプラ社

ある日、カエルの男の子エルは家に帰ると「ぼく、おかあさんになりたい」と言いました。おかあさんはエルの言葉にびっくり!「どうしておかあさんになりたいの?」

おままごとで遊んでいるとき、いつも仲良しのアールちゃんがお母さん役。お母さんになってガミガミしかってみたい!というエルの言葉にお母さんはあきれました。「お母さんのしごとは、しかることだけじゃないのよ」それを聞いたエルは、お母さんを欲しがっている家を次々とまわっていきますが…。

この本には、お母さんをテーマにした2つのお話があり、もう一つの「ひみつを いたい」と一緒にどうぞ。

(対象 小学低学年から)

■絵本

「なあなあ、あそぼ〜！」

・作:さいとうしのぶ

・出版社: 岩崎書店

ねこは家出することがあります。ふらっといなくなるくせに、こちらの心配をよそに、数日後に何食わぬ顔で帰ってきたりします。そんなねこたち、家出している間は一体どこに行っているのだろう？

実は、傷ついたねこが集まるねこの国があるのです。とても楽しそうなねこの国。このまま、帰らなくなるのでしょうか。不安だけれども大丈夫。ねこの国には、彼らが本当に大切な人を忘れないように、ふしぎな鏡があるのです。

ねこを飼っている人には共感できる、飼っていない人もねこを飼いたくなるような絵本です。

(対象 0歳から)